

いきものとのつながりを感じよう！ 多摩市いきもの季節観測スタート ～多摩市気候非常事態宣言に基づき、生物多様性の保全に取り組んでいます～

市は、地球温暖化の影響で大きく変化している地球の気候の問題を考えるきっかけとして、季節ごとに特徴のある動植物や昆虫などのいきもの情報を募集する「多摩市いきもの季節観測」を始めました。

市では、これまでも「多摩川野鳥ギャラリー」などいきものに関する情報収集に努めてきました。また、本年4月からは、環境省のアプリ「いきものログ」を活用した身近ないきものの投稿なども始めています。このように色々な入口を設けて、市民の皆さんが活用しやすい媒体で興味ある分野からいきものの観察に参加してもらえる環境を用意しています。

「多摩市いきもの季節観測」はそうした入口の一つとして、多くの市民の皆さんに楽しみながら生物多様性への理解を深めていただき、いきものと私たち人間との関係や気候の変化がもたらす私たちの身のまわりへの影響などを考えてもらうことを目的に実施します。募集期間は随時です。市内で季節を感じるいきものを見つけたら、気軽に報告していただきたいと考えています。

1 多摩市いきもの季節観測のポイント

- ・多摩市気候非常事態宣言で掲げた生物多様性の保全の取組の一つとして実施します。
- ・市民の皆さんがいきもの観測を通して、人といきものつながりを感じ、開花や紅葉、鳴き声などから、いつもと違う変化を見つけたら、気候の問題と重ねて考えることで、地球環境問題を一人ひとり自分事と考えるきっかけにしてもらいます。
- ・例えば、「昔よく見かけた昆虫が最近見なくなった」、「セミの鳴き始めが早くなった」、「最近、花の開花が早くなった」、「紅葉が遅くなった」などの変化は、地球温暖化による気候変化の影響を受けている可能性があります。

2 概要

(1) 調査対象

季節ごとに特徴のあるいきもの（下記はあくまで例です。例に挙げたもの以外でも可）

- ・ 3月～5月頃の対象種
サクラ（開花）、タンポポ（開花）、ツバメ、ジンチョウゲ、ウグイス、モンシロチョウなど
- ・ 6月～8月頃の対象種
アジサイ（開花）、サルスベリ（開花）、クワガタムシ、ツクツクボウシ、カブトムシ、コオロギなど
- ・ 9月～11月頃の対象種
イチョウ（黄葉）、サザンカ（開花）、ヒガンバナ（開花）、キンモクセイ、赤トンボ、ススキ、モミジ（紅葉）、ヤツデ（開花）など
- ・ 12月～2月頃の対象種
スイセン（開花）、ツバキ（開花）、ツグミ、ジョウビタキ、ウメ（開花）、クロッカス（開花）

(2) 参加対象

全般 ※特に次世代を担う子どもメインターゲットとする

(3) 調査地

多摩市内（公園、学校、自宅周辺など）

(4) 報告方法

投稿フォーム (<https://logoform.jp/form/4N4o/25950>) から、または、「いきもの季節観測調査票」に必要事項を記入し、撮影したいいきものの「写真」を添付のうえ、郵送、ファクシミリ等で、〒206-8666 多摩市関戸6-12-1、多摩市役所環境政策課FAX042(338)6857へ

3 今後の展開

報告いただいた情報は、多摩市公式ホームページや今後発行予定の(仮称)いきもの季節レターなどに掲載し、いきものと気候問題を科学的に紹介していく予定です。

また、次期みどりと環境基本計画及び生物多様性地域戦略を策定していくための基礎情報の収集や、観察会などで小・中学生に生物多様性の保全の大切さを知ってもらうためのツールとして活用していきたいと考えています。

<別添資料>・募集チラシ

・いきもの季節観測調査票

問い合わせ

環境部環境政策課

電話：042(338)6831